

輸出を考える時の技術的留意点

生産技術課

～相手国の基準に合わないと通関できない!!～性能はバツグンでも日本仕様ではダメなの!?

後援：(一社) 高知県工業会

電気・電子機器が搭載された機械装置は、相手国の技術基準（法律や規格など）に合致しないと、通関できずビジネスが成立しない可能性もあります。一般的に、日本の技術的基準とは違っています。

今回は、『技術基準とは』の制度面と、機器製造メーカーとして、『EMC・電気安全面で何が求められ、どんな対策をすべきか』など技術的側面の2つの観点から自社製品を見直す機会にして頂ければということで企画しました。

研修内容

前半：各国の制度はこうなっている

1. 世界各国では電気・電子機器搭載製品にどんな技術基準があるか
2. 輸出相手国の基準への適合と認証とは
3. 技術基準不適合品に対する罰則
4. 技術基準適合性評価と認証取得法



前半の様子

後半：制御盤設計時の EMC・電気安全の留意点

5. EMC（電磁両立性）とは
6. 装置製造メーカーとしての対応
7. EMC設計の基本
8. EMC対策事例紹介



後半の様子

参加者の声

受講後の満足度（回収 21 名）：大変満足 1 名、概ね満足 18 名、どちらともいえない 2 名

- ・ EMC については分かりやすかった。専門的なことを聞け参考になった。
- ・ ノイズ対策セミナーは大変勉強になりました。
- ・ 技術連絡書は非常に役立つそう。お客さんは EMC にお金がかかる認識はないと思うので。

研修概要

研修担当者 刈谷 学
参加人数 23 名

日 程 7 月 3 日（1 日間）
場 所 高知県工業技術センター